

## Ⅱ 図書館サービスの概要

### 1 利用者サービス

#### (1) 来館者へのサービス

##### ① 貸出・返却

貸出点数 10 点以内（AV 資料・大型絵本・大型紙芝居計 3 点以内）、貸出期間 3 週間  
ア 予約、リクエスト

利用者の希望する資料が貸出中の場合は、館内では OPAC（利用者用蔵書検索端末）で予約が可能である。また、館外ではインターネットで予約が可能である。未所蔵の資料については購入又は他館借用（相互貸借）により資料提供している。

##### イ 遠隔地利用者図書返却サービス

県図書館で借りた本を、地元の図書館（室）で返却できる遠隔地利用者図書返却サービスを実施している。返却可能な図書館は、平成 28 年 1 月から輪之内町立図書館が参加したことにより、50 館（室）となった。

##### ② レファレンス・サービス

利用者の質問・調査研究に対して、所蔵資料・データベース・ウェブ情報などを用いて、回答や調査の支援を行う。

当館単独で回答が困難な場合は、国会図書館など他機関への照会、その分野に関する専門の調査研究機関の紹介なども行っている。

#### (2) 児童サービス

児童図書研究室に、児童図書、絵本のほか子どもの読書に関する参考図書を収集し、子どもに本を手渡す大人のレファレンスに対応している。絵本はできるかぎり収集に努め、読みくらべ絵本、視覚障がい者用布絵本・点訳絵本なども所蔵し、児童図書の研究活動を支えている。また、児童図書研究通信「あひるの子」を年 1 回発行し、子どもの読書推進に寄与している。

児童コーナーに、乳幼児から小学生を対象として、児童図書、絵本、紙芝居などを収集・提供している。

#### (3) 郷土資料サービス

2 階開架閲覧室に県内市町村史誌、郷土人伝記、教育関係資料、各種統計書、郷土文学資料など約 1 万 9 千冊を排架し、県内はもとより、全国からのレファレンスに対応している。

「岐阜県関係新聞記事索引」「岐阜県関係雑誌記事索引」「岐阜県人物文献索引」「岐阜県関係資料の目次」などのデータベースを整備し、レファレンス機能を向上させている。平成 26 年度末のシステム更新により、新聞記事索引、雑誌記事索引、人物文献索引は蔵書検索システムと統合し、一括して検索できるようになった。

#### (4) 地図情報サービス

地図情報の資料として、空間的・時間的な情報を持つ地図及び地図関連図書を約 15 万点収蔵し、県内はもとより、全国からのレファレンスに対応している。

県図書館ホームページで収蔵する地図関連資料を広く公開するとともに、検索を容易にしてレファレンス機能を向上させている。

古地図については、平成 15 年度に当館独自の詳細な古地図分類を完成させ、その分類方法に基づき検索が可能である。また、デジタルアーカイブ化を実施した古地図についてはその画像も公開している。

#### (5) 高齢者・障がい者サービス

##### ① 設備

身体に障がいのある利用者のための駐車スペースやトイレ、拡大読書器、「大活字本コーナー」を設置。館内用車椅子の貸し出しを行い、書架と書架との間は車椅子の対面通行が可能な幅となっている。視覚に障がいのある利用者のための点字ブロックや案内、対面読書室なども設置している。

平成 28 年度には、カウンターに読書補助具、双眼ルーペ、身体の不自由な方が書架等で職員のサポートを必要とする際に使用する呼び出し機、活字読み上げ装置を設置、拡大読書機を増設した。また、Windows の操作ガイド、インターネットページの読み上げ、マルチメディアプレイヤーの再生、文章の点訳をするための各ソフトウェアを導入、バージョンアップしている。

##### <福祉機器一覧>

拡大読書器：8	簡易筆談器：5	読書補助具：6	助聴器：3	低床作業椅子：2
双方向呼び出し装置：3	活字文書読み上げ装置：1	双眼ルーペ：3		
活字自動読み上げ機：1	DAISY 再生機：2			
自動点訳ソフト：1	マルチメディアプレイヤー再生ソフト：1	読書用混成ソフト：1		
Windows 操作支援ソフト：1	Web 操作支援ソフト：1			
コミュニケーションボード：3				

##### ② サービス

重度の身体障がいのある利用者や視覚に障がいある利用者への郵送貸出サービス、視覚に障がいのある利用者への対面読書サービスや「サピエ」（視覚障害者情報総合ネットワーク）等を活用した点字・録音資料の提供、新たな録音資料の製作と提供を行っている。

視覚に障がいのある利用者へのサービスについては、視覚障がい者サービス協力者の力を得て実施している。

#### (6) インターネットによるサービス

##### ① 資料検索、予約及び情報発信

平成 8 年 10 月にホームページを開設し、ホームページからの資料検索や情報提供を実施。資料の検索のほか、貸出中の図書への予約、イベント情報の提供等を行っている。

平成 19 年度に子ども向けのページを作成。

平成 21 年 3 月に携帯電話からの予約を開始。

平成 24 年 11 月にスマートフォン版蔵書検索を試行。

平成 27 年 3 月に岐阜県関係記事・デジタル化資料（郷土・地図資料）を蔵書と一括検索開始。

- ② 岐阜県横断検索  
平成 12 年 3 月実験版を稼働。同年 12 月に正式版を公開。  
・参加館数 45 館（公共図書館 36 館（室） 大学図書館 7 館 専門図書館 2 館）
- ③ レファレンス関連  
パスファインダーを公開し、随時内容を更新（99 種類）。  
国立国会図書館のレファレンス協同データベースにレファレンス事例を提供（1,791 件）。

## (7) 県政サポートサービス

県政における新たな施策立案等に県図書館の図書・雑誌を活用してもらえるよう、平成 28 年 1 月 15 日から、県職員を対象に「図書・雑誌の貸出・返却配送」「リクエスト購入」のサービスを開始した（当面は本庁の所属のみ）。あわせて、県職員に向けて「レファレンス」「研究室」の利用を PR することとした。

## 閲覧室の概要

1 階 開架閲覧室	約 19 万冊（一般図書・児童図書・AV 資料・雑誌・外国語資料など） 閲覧席 187 席
2 階 開架閲覧室	約 4 万冊（郷土資料・新聞資料・地図資料） 閲覧席 78 席
ブラウジングコーナー	雑誌約 330 誌を排架
AV コーナー	ビデオ、LD、CD、カセットテープ、DVD を 約 2.6 万点所蔵し、ブース（計 4 台）にて視聴できる
利用者用端末機	タッチパネル方式 6 台 キーボード方式 9 台 インターネット専用 5 台 計 20 台設置
マイクロリーダー データベースコーナー	マイクロリーダー 2 台、マイクロフィルムスキャナ 1 台 外部データベースや CD-ROM 等を利用できる
海外情報コーナー	「外国語資料」「語学学習」「各国情報」「外国語新聞・雑誌」に分け、語学と世界の文化などを知ることができる図書を排架
海外教育コーナー	児童コーナーに海外の小学校教科書の一部を排架
健康医療情報コーナー	病気や治療法、闘病記などの健康や医療に関する図書を排架
児童コーナー	児童書、絵本、紙芝居など約 7 万 6 千点の資料を排架
児童図書研究室	児童書、絵本及び子どもの読書に関する参考図書を排架
おはなし室	絵本の読み聞かせ、紙芝居、ブックトークなどを実施
子育て支援図書コーナー	子育ての参考になる資料を排架
ティーンズコーナー	中高生世代向けの小説や将来を考えるための本などを排架
ぎふ清流の国文庫	郷土にかかわりの深い「関ヶ原合戦」「杉原千畝」「航空宇宙」「郷土作家」などをテーマにした図書を排架

## その他の施設

- ・多目的ホール・研修室・楽書交流サロン等を利用者に広く開放している（平成 24 年度一部有料化）
- ・先人顕彰室を企画展示室と改め、情報発信の場として活用している（平成 19 年度より）
- ・企画展示室は、県出身の作家などの展示はもとより、美術館・博物館など県内文化施設と連携した展示を実施するために、貴重展示物の受入環境を整備する工事を行った（平成 28 年度）

## 2 図書館資料・外部データベース等

### (1) 収集方針等

#### ① 収集方針

県民の調査、研究、学習活動等を支援するために必要な資料を「図書館法」の精神に基づいて幅広く収集。

#### ② 資料収集に関わる重点事項（平成 29 年度）

県図書館として市町村図書館等との役割分担を意識した資料収集をめざし、県民の自主的な課題解決を支援する収集を行う。

#### ③ 資料収集委員会・選書委員会（平成 28 年度）

資料収集委員会は定例会を年 3 回開催。蔵書の構成計画、資料の収集計画等を協議決定した。また、選書委員会は年間 22 回開催した。

### (2) 収集資料

種 類	収 集 の 内 容
一 般 図 書	市町図書館で収集しない専門資料を厳選して収集 県民の調査研究を支援する参考図書、専門図書を収集
郷 土 資 料	行政出版物、民間出版物を含む郷土資料、県内ビジネス・生活情報を継続して収集
地 図 資 料	学校教育への支援を意図した児童・生徒向けの地図関連資料の収集 県の機関等が作成した地図・図書資料の継続的収集
児童 コーナー 資料	評価の定まったもの、新刊書を厳選して収集
児童図書研究室 資 料	将来にわたり児童文学等の研究に供するための資料を収集
Y A 資 料	ヤングアダルトを主たる対象として出版された各分野のうち、評価の定まった資料を体系的に収集
逐 次 刊 行 物 (新聞・雑誌)	県内市町図書館等の所蔵情報を考慮し、県図書館としての機能を担い果たすための逐次刊行物を精査し収集
A V 資 料	郷土関係の A V 資料を充実
マ イ ク ロ 資 料	通常の印刷物では入手できない資料及び利用と保存の上からより効率的と考えられる資料を収集
電 子 出 版 資 料	事典・判例集等、利便性の高く、調査研究に役立つ資料を収集
読 書 活 動 支 援 資 料	調べ学習や読み聞かせのセット文庫等、子どもの読書活動推進のための資料収集 視覚障がい者録音図書作成のための資料収集
そ の 他	外国語資料、大活字本、視覚障がい者用録音図書・点字図書等を収集

【特別コレクション】

啓明文庫（けいめいぶんこ） 昭和 48 年 10 月閑淡文庫として設置された文庫。ドイツ文学史研究家伊東勉氏（1992 年没）から寄贈を受けた、ゲーテ、シラー、ハイネなどのドイツ古典文学作品とその研究資料及び明治期の日本における比較文学研究資料を中心に収蔵	平成 3 年 3 月改称
豊田穰文庫（とよだじょうぶんこ） 当県出身の直木賞受賞作家豊田穰氏（1994 年没）の戦記文学・戦記物コレクションの寄贈をもとに、氏の全著作と、執筆に際して参考にされた戦史・戦記、政治家・軍人の伝記資料などを収蔵	平成 7 年 7 月設置
櫻林文庫（さくらばやしぶんこ） 音楽療法の先駆的役割を果たされた東京芸術大学名誉教授で「岐阜県音楽療法研究所」名誉所長櫻林仁氏（1995 年没）の研究書、関連図書を収蔵	平成 8 年 3 月設置
看雲文庫（かんうんぶんこ） 美濃国加納（現岐阜市）出身で江戸後期の美濃における漢詩の第一人者、宮田嘯台（みやたしょうだい・1747～1834）氏の遺稿「看雲栖詩稿」をはじめ、著書・和漢書を収蔵	平成 10 年 11 月設置

(3) 平成 28 年度購入実績と平成 29 年度予算 (単位：千円)

	平成 28 年度実績	平成 29 年度予算
本館用資料購入費	43,307	56,610
図書購入費	33,068	43,987
逐次刊行物	8,436	9,376
A V 資料等	583	1,757
地図資料	1,220	1,490
読書活動支援図書購入費	168	900
総合計	43,475	57,510

(4) 資料の受入

① 選書と受入

- ・新刊図書で選書会を開き、現物を見ながら選書を行う。  
全集等継続購入の分を含め、毎月 1,000 冊程度の図書を購入
- ・寄贈図書は郷土資料を合わせ毎月 450 冊程度を受入

② リクエスト図書（利用者からの希望図書）

- ・リクエストには、収集方針に則り購入又は他館借用（相互貸借）で対応

<平成 28 年度実績>

リクエスト数	1,182 冊
購入冊数	124 冊（購入金額約 50 万円）
他館借用冊数	1,050 冊

## (5) 図書総点検

資料が円滑に利用できるように、年1回(10日間)、書架にある資料とデータを照合し、点検する。ラベル番号順に完全に並べ直す作業や増加する資料を効率的に排架するための移動作業もあわせて実施。

<平成28年度実績>

実施期間：平成28年11月29日(火)～12月8日(木) 点検対象点数：444,500点

## (6) 蔵書評価

現蔵書の長所短所を把握し適切な蔵書構成を維持するために、平成25年度より継続的に蔵書評価を実施。

<平成28年度実績>

分野	期日	診断者
障がい福祉	平成29年1月27日	岐阜県障がい者総合相談センター等職員4名
海外情報	平成29年3月23日	岐阜聖徳学園大学外国語学部教授 宗宮喜代子氏

<平成27年度以前の実施状況>

25年度：芸術(岐阜県美術館学芸員)、26年度：健康医療(岐阜県教育委員会教職員課保健師)、27年度：教育英語(高等学校英語科教員)、教育(小中学校教員)

## (7) 資料のデジタル化

当館が所蔵する地図資料や郷土資料、貴重資料をデジタル化することで、資料の劣化を防ぐとともにデジタル化した資料をホームページで公開している。(平成29年4月1日現在)

### 【地図資料】

#### ・古地図

岐阜県関係や明治初期以前のもの、貴重なものなどをデジタル化している。

計2,748点。平成28年度実績14点(168枚)

### 【郷土資料】

公開資料	概要
郷土絵葉書・写真等	当館が所蔵する岐阜県内各名勝の絵葉書・写真等、42種類(約500枚)。主に1900年初頭から昭和初期のものを収集。
櫻花図譜	桜の研究で世界的に著名な岩村町出身の植物学者・三好学が112種の桜を観察したもの。1921年刊。
The pressed specimens and moths (蝶蛾鱗粉転写標本)	鱗粉転写(蝶や蛾の鱗粉をそのまま写し取り胴体部分を描く)による標本。1908年、名和昆虫研究所工芸部刊行。105枚。
新式昆虫標本製作法	昆虫採集と標本作成についての手引書。木村小舟(明治大正期に少年文学界など幅広い分野で活躍した富加町出身の編集者)と名和靖の共著。1909年刊。
坪井竹類図譜	坪井伊助による竹類図鑑。1916年刊
美濃紙抄製図説	江戸時代の紙漉きの方法を伝える貴重な記録。1880年、岐阜県勸業課編。稿本。

【ファッション関係貴重資料】

PETIT COURRIER DES DAMES (プチクリエ・デ・ダム)	19 世紀前半のパリを代表するファッション誌。服飾画集。全 6 巻。約 1,000 枚。1821～1833 年刊。
Gazette du Bon Ton (ガゼット・デュ・ボン・トン)	「今世紀最大のモード誌」といわれたファッション雑誌全 70 号。1912 年 11 月創刊号～1925 年 12 月終刊号。図版総数 571 点。

(8) 外部データベース一覧 (平成 28 年度)

データベース名	概要等
日経テレコン 21	①日経各紙の全文 (日本経済新聞朝刊・夕刊、日経産業新聞、日経 MJ (流通新聞)、日経地方経済面他) ②企業情報 (日経プロフィール: 全国主要約 2 万社の、労務情報、貸借対照表、損益計算表、監査意見等) ③企業人情報 (日経 WHO'S WHO: 有力企業約 5 千 5 百社の役員・部長・次課長、中央官庁・政府関係機関等の幹部の人事情報) ④その他 (日経英字紙、日経 NEEDS 統計データ等)
中日新聞・東京新聞記事データベース	①中日新聞記事 (1987 年 4 月以降の朝夕刊の最終版と 1989 年 4 月以降の愛知・岐阜・三重県の地方版の主要記事) ②東京新聞記事 (1997 年 4 月以降)
官報情報検索サービス	昭和 22 年 5 月 3 日～直近 (当日発行分は午前 8 時 30 分以降に公開) の官報 (本紙、号外、政府調達公告版) *代行検索
D1-Law.com	①現行法規 (改正法含む。主要 34 法令以外は H13 年以降) ②判例体系 (要旨、本文、判例評釈、参照法令等) ③法律判例文献情報
CiNii 定額制	CiNii 全ての機能と、NII 電子図書館の学会誌のうち「定額アクセス可能」の論文本文の利用が可能
聞蔵Ⅱビジュアルフォーライブラリー	①朝日新聞 (1984 年 8 月以降の東京本社発行の最終版等) ②AERA 記事 (1988 年 5 月号以降) ③週刊朝日記事 (2000 年 4 月以降) ④朝日新聞縮刷版 (1945 年～1989 年)
ルーラル電子図書館ライブラリープラン	①月刊「現代農業」(1985 年以降) ②「日本の食生活全集」 ③「農業技術体系」 ④「食品加工総覧」 以上のほか、病害虫に関すること、雑誌「食農教育」などに掲載された記事等、食べもの・農業・環境などの情報が検索できる。
ジャパンナレッジ Lib	『日本大百科全書』『日本人名大辞典』『日本国語大辞典』など 50 種以上の事典・辞典類が検索できる。
国立国会図書館デジタル化資料送信サービス	国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、入手困難な資料の送信を受け、閲覧・複写ができる。
歴史的音源	歴史的音源アーカイブ推進協議会がデジタル化した 1900 年初頭から 1950 年頃までに国内で製造された SP 盤等に収録された音楽等の音源を聴くことができる。

※平成 29 年度導入予定データベース

「岐阜新聞電子縮刷版サービス」「Mp a c -マーケティング情報パック」「J R S 経営情報サービス」「M i e N a 市場情報評価ナビ」「東洋経済デジタルコンテンツライブラリー」「B I コモンズ電子ライブラリ」「医中誌W e b」

### 3 県内図書館への支援・連携と県外図書館との連携

#### (1) 地区別意見交換会

県内市町図書館との連携協力を深めるため、地区ごとに市町図書館職員と県図書館職員との意見交換を実施。平成 28 年度も、県内 6 地区で実施した（うち 1 地区は書面による意見交換）。

#### (2) 図書館未設置町村巡回

図書館未設置町村の公民館図書室を対象に巡回し、図書室の運営に関する相談・助言や図書館資料の貸出を行った。

平成 28 年度は、図書館未設置の 8 町村を対象にそれぞれ年 1 回実施したほか、可茂地区の公民館図書室担当者会を開催し、意見交換を行った。

#### (3) 貸出文庫・読書会テキストの貸出

市町図書館・公民館図書室・読書団体等の活動を支援するため図書館資料を貸出している。

#### (4) セット文庫の貸出

学校教育の用に供する図書を特定のテーマごとに組み合わせてセットとし、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に貸出している。

#### (5) 相互貸借による支援

利用者の求めに応じて、自館で所蔵していない資料を他館から借受し、また、他館からの依頼に応じて貸出する「相互貸借」を県内外の図書館と行っている。

##### ① 県内図書館への定期便による配送業務支援

当館へ来館することが困難な県民の方にも、地域の市町村図書館等を通して 県図書館の資料を利用できるよう、市町村図書館等からの依頼に応じて、週 1 回の定期配送を行っている。

平成 16 年 12 月からは、市町図書館間の定期便の運用を開始した。このシステムでは市町図書館間で相互貸借を行う際に、各市町村図書館は同定期便に資料を載せて県図書館へ配送し、翌週に県図書館から相手館に配送している。

平成 23 年 1 月からは、図書館未設置町村の 8 中央公民館図書室が定期便対象に加わった。

平成 29 年 4 月からは、北方町、大野町、可児市、富加町の 4 館について、週 2 便へと増便することとなった。

##### ② 県内大学図書館との連携

平成 16 年 3 月に岐阜大学図書館との間で相互協力に関する協定を締結し、岐阜大学図書館による週 1 回の資料搬送を実施している。平成 24 年 4 月から岐阜大学返却サービスを開始した。

平成 22 年 3 月には中部学院大学・中部学院大学短期大学部とも協定を締結した。



③ 県外図書館との連携

東海・北陸地区の県立図書館との間で定期便を運行し、県内市町図書館の相互貸借業務を支援している。

平成 17 年 6 月に東海三県県立図書館間で、平成 22 年 3 月に富山、石川、福井の各県立図書館と相互協力の協定を締結し、貸出、返却資料の配送を目的とした定期便の運行を開始した。

④ 県内高等学校図書館への支援強化

平成 18 年 9 月から、県内高等学校図書館への貸出について、送料を県図書館が往復負担することで、当館資料の利用促進を図ることとした。

(6) 相互連携のための活動

① 岐阜県公共図書館協議会の活動

事務局を県図書館に置き、県内の 35 公共図書館及び笠松中央公民館図書室 1 室で構成する。県内図書館の振興により全県域における図書館サービスの発展を図るため、図書館職員向けの研修会、図書館運営やサービスに関する研究、資料の共同収集などを行っている。

② 岐阜県図書館協会の活動

事務局を県図書館に置き、県内の図書館関係団体を総括する。県内の図書館活動を振興し、館種の異なる図書館同士の連携協力を推進するために、図書館職員向けの研修会や相互協力に関する研究などを行っている。

## 4 県民に開かれた図書館運営

### (1) ボランティア活動

当館の運営は、さまざまな分野でサポーター（ボランティア）の方々の活動に支えられている。

図書館側としても、これらの活動に応えるべく、資質向上を図るため研修会を開催したり、懇談会を企画してサポーターの方々との連携・協力を努めている。

また、平成 14 年に「サポーター・ボランティア控室」、平成 15 年に「サポーター・ボランティア活動室」を設置し、活動を支援している。

なお、平成 19 年度から「視覚障がい者サービスボランティア」の名称を「視覚障がい者サービス協力者」に変更した。

#### ○ 活動実績（平成 28 年度）

##### ① ボランティア全体

- ・全体交流会（年 1 回）

9 月 29 日（木） 参加者 17 名

##### ② 一般サポーター（登録者数 34 名）

- ・活動内容 返却本の整理、破損本の修理、イベントへの協力等
- ・研修会（年 1 回）・懇談会（年 1 回）

##### ③ おはなしサポーター（登録者数 44 名）

- ・活動内容 おはなし会の実施（月約 3 回）
- ・研修会（年 1 回、外国絵本サポーターと合同）・懇談会（年 1 回）

##### ④ 外国絵本サポーター（登録者数 9 名）

- ・活動内容 おはなし会での外国語による読み聞かせ（偶数月 1 回）
- ・研修会（年 1 回、おはなしサポーターと合同）・懇談会（年 1 回）

##### ⑤ 視覚障がい者サービス協力者（登録者数 34 名）

- ・活動内容 対面読書、録音図書の作製
- ・せせらぎ月例研修会（9 回）・校正講座（全 5 回）・懇談会（年 1 回）

##### ⑥ 花飾りサポーター（登録者数 4 名）

- ・館内美化のためサポーターによる生花の飾りつけ

（登録者数は平成 29 年 4 月 1 日現在）

### (2) 県民からの意見等の図書館運営への反映

「県民に開かれた図書館運営」の実現を目指し、利用者の立場に立った図書館サービスの向上に努めている。各カウンターにおいて常に職員が利用者の意向・動向の把握に努めるとともに、館内に「提案箱」を設け、利用者から寄せられた意見、要望を把握し、より満足していただけるサービスの提供を目指している。また、寄せられた意見、要望に対する回答は、1 階エントランスにて公開している。

- ① 平成 28 年度「提案箱」へ寄せられた提案件数 74 件

### (3) 利用者アンケート調査等の実施

利用者の意見や評価を図書館運営に反映するため、アンケートを年2回実施。

	第1回	第2回
実施期間	平成28年8月24日 ～8月31日	平成29年2月1日 ～2月16日
回答数	304人	200人
レファレンス認知度	59.6%	59.9%
レファレンス満足度	97.4%	96.5%
窓口サービス満足度	99%	98.3%